

## プロジェクト報告書

団体名 東京恵明学園乳児部

### 1. プロジェクト名

ブレインジムの講習及び実践

### 2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

ブレインジムの講習及び実践

世界80か国以上で実践されている「ブレインジム」を講師から学び、発達等に障害の可能性のある児童への運動を行い、情緒の安定や緊張による身体の硬直の軽減を行う。そして、職員に対しても子ども達を気持ちよく養育できるように、メンタルヘルスを込めたブレインジムの講習を受ける。

### 3. プロジェクトの内容 300文字まで

ブレインジムの講習及び実践

ブレインジムの講師である今道先生を毎月お呼びし、子ども達の様子を見てもらいながら、ブレインジムを通して情緒の安定と身体的な硬直を軽減し、より豊かで専門的な養育を行う。

学園では、大きく分けて3つのグループ(ホーム)に分かれている。そのため、先生には毎月違うグループの様子を観察してもらい、3ヶ月に1度のペースで児童の変化や様子の振り返り・総評を行ってもらう。グループを回る際には、当学園の心理療法担当職員が、付き添い先生のアドバイスと総評を聞き取り、現場職員へ情報を渡すとともに、質問や変化があった時には、心理療法担当職員が橋渡しとなって、情報収集とアドバイスを行う。

現場職員には、ブレインジムの基本となる考え方や基本動作について、心理療法担当職員が中心となって講習+DVDで学習し、先生のアドバイスに沿って、ブレインジムを行っていく。

### 4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

ブレインジムの講習及び実践

当学園の嘱託医であり精神科医である白川美也子先生に、毎月児童の診断をしていただいている。(心理療法担当職員が付き添って、情報を集めて、現場にアドバイスしている。)

そして、その結果に基づいて、今道先生や心理療法担当職員が専門的な療法及びブレインジムを行う。

その後、3ヶ月を目処に白川先生に再診していただき、原始反射の軽減や情緒の安定性・身体の硬直さの軽減について診断している。

### 5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

ブレインジムを行う事により、子ども達に残っている原始反射の軽減、発達の促進に繋がった。そして、発達の促進をしたことで、児童の不安による強い泣き声やカミなどが軽減されているように感じる。

今後においても、専門医の診断の元、ブレインジムを続けることで、子ども達の発達保障を守りながら、早期の家庭復帰が出来るように努力を進めていきたい。

次年度は、職員向けのブレインジムを行い、大人のリラックス方法を習得させ、子ども達と気持ちよく向き合える職場づくりを目指している。

### 6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし